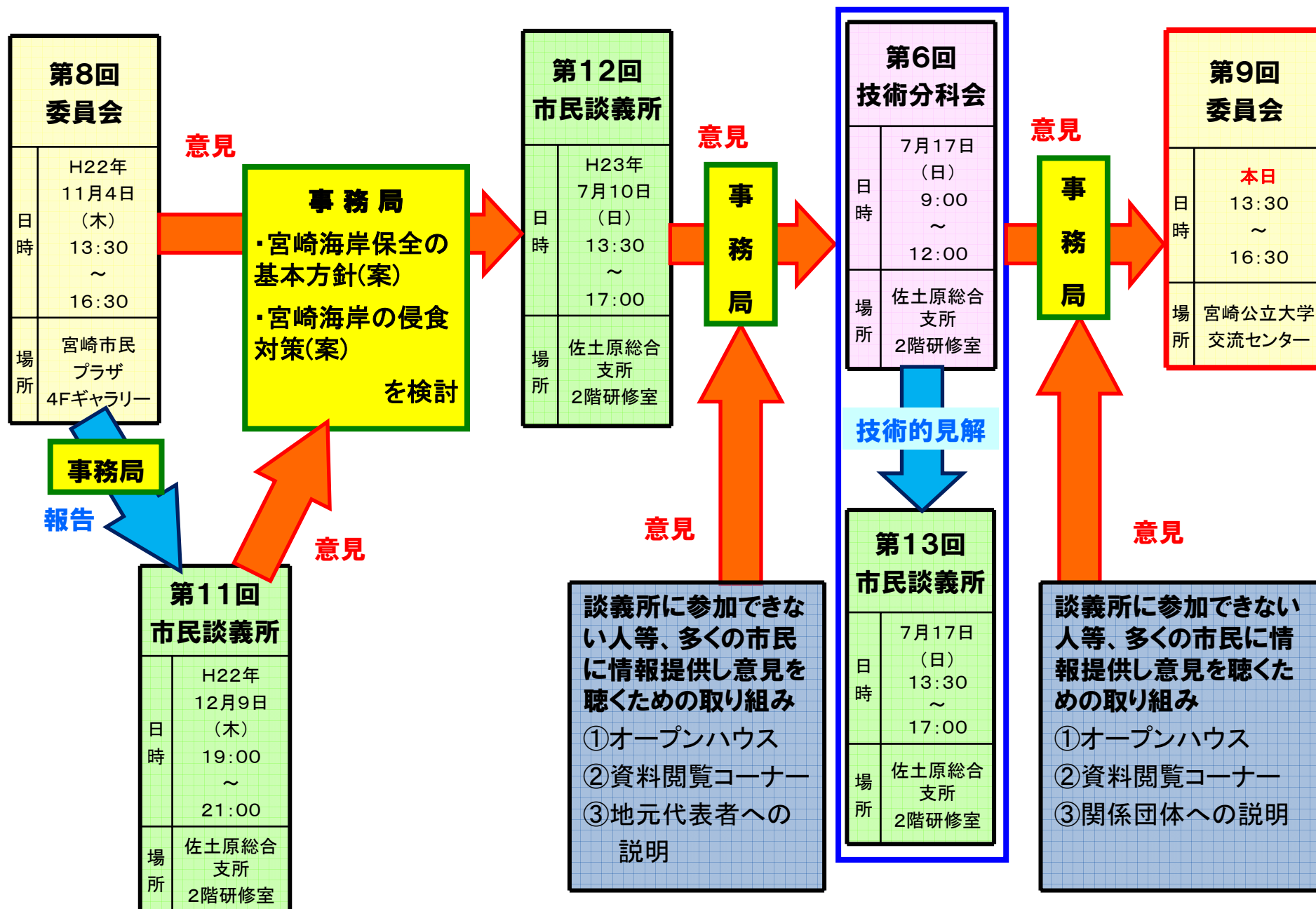


第8回委員会以降の市民談義所等及び技術分科会の開催状況

<内容>

1. 第8回委員会以降の市民談義所等及び技術分科会の開催状況. . .	1
2. 第11回宮崎海岸市民談義所.	2
3. 第12回宮崎海岸市民談義所.	5
4. 第6回技術分科会.	8
5. 第13回宮崎海岸市民談義所.	11
6. オープンハウス・資料閲覧コーナー・地元代表者への説明. . .	14

第8回委員会以降の市民談義所等及び技術分科会の開催状況 - 1 -



第11回宮崎海岸市民談義所の開催状況(1/3)

- 2 -

□開催日：平成22年12月9日(木)

□場所：佐土原総合支所 2階 研修室

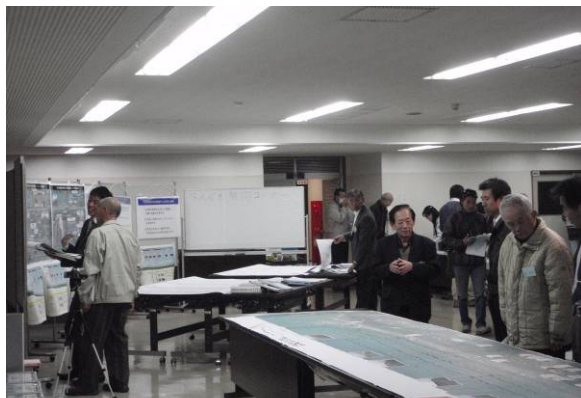
□参加した市民：31名

□議事概要：

①宮崎海岸侵食対策工法を決定するまでの手順

②第8回宮崎海岸侵食対策検討委員会の報告

- ・宮崎海岸の侵食対策の目標
- ・宮崎海岸の侵食対策において求められる機能
- ・各施設等の機能(実績のある施設、市民提案)



相談窓口でこれまでの経緯を説明している様子



進行を行うコーディネータ



市民活動の告知を行う参加者

《主な意見・質問》

- 計画外力としている波の大きさについて教えて欲しい。
- 目標とする砂浜について教えて欲しい。昔の写真等を使って、目標がどの程度なのかイメージできるようにわかりやすく示してほしい。
- 防護の対象としている海岸背後の資産とはなにか。
- 具体的な対策はまだ決まっていないのか。
- この対策は国土保全であると思う。自然環境も大事だと思うが、人命を最優先で対策を検討してほしい。
- 今後10年くらいで対策を実施して欲しい。事業仕分けで予算が削られた例もあるので早めに完了させるべきではないか。
- コンクリート護岸には賛成できないが、材料を工夫するなどすれば護岸そのものを否定しなくても良いのではないか。
- 侵食対策は、最終的には「住民の思い」でなく技術的な判断で決定してほしい。
- 土砂が北から南に流れているというのならば、石崎浜の前に(浚渫土砂を)入れることが出来れば港湾に戻るのを遅らせることが出来ると思う。

◆談義のまとめ

✚ 「対策を決定するまでの手順」、「第8回侵食対策検討委員会の検討結果」および「H22養浜の実施計画」について談義を行い、参加者からさまざまな意見・質問があった。

- 目標を市民にもわかりやすいかたちで共有すべき。
- いろいろな対策が考えられる中で、よりよい方法を選ぶことを今後検討していく段階に入ってきた。
- 対策の検討は、安全確保を大前提として進めてほしい。

第12回宮崎海岸市民談義所の開催状況(1/3)

- 5 -

□開催日:7月10日(日)

□場所:佐土原総合支所 2階 研修室

□参加した市民:41名

□議事概要:

①宮崎海岸侵食対策(案)の提示

②侵食対策(案)に対する市民の意見聴取

侵食対策(案)を提示して、以下の観点から意見をお聞きしました。

1. 平面計画(案)について

2. 景観・構造、施工順序について

3. 今後の宮崎海岸との関わり方について

技術的な意見は、第6回
技術分科会で検討議論
しました。



コーディネータが談義所の進め方を解説



ワークショップの様子



侵食対策(案)について意見を述べる市民

《主な意見・質問》

- 現実として砂浜がないところがあり、ゆっくり対策と言っている場合ではない。とにかくスピード感を持って早く整備を進めてほしい。
- 議論だけ先行しても地元住民に安心感はない。たとえ後日撤去することになっても、まずは着工してほしい。
- 現実として二ツ立海岸の侵食実態がある。今は波が護岸に叩き付けている。早く対策をしてほしい。
- 提示された突堤案の効果を示す具体的な事例はないか。
- 突堤を作ると侵食が進むのではないか。
- 提示された対策案は、それが有効かどうかを調べる調査とセットになっているのか。施工される対策が有効かどうかの判断や次の段階に進むかどうかの判断はどのように行われるのか。
- 突堤は、対策のためには必要なのかもしれないが、漁業者の立場では、漁場に対して悪くなるし狭くなるため、あまり沖に出してほしくない。
- 提示された対策案は、津波が来襲した場合に悪影響はないのか。
- 本当にいい海岸はどうしたらいいかという長期の目標に立って目の前の対策を考えてほしい。

◆談義のまとめ

- ✚ 宮崎海岸侵食対策(案)について談義を行い、参加者からのさまざまな質問や意見があった。

- 地元住民からは、「急いで対策してほしい」「安全を確保してほしい」という声が強かった。
- 他方、対策の効果をきちんと確認して、その都度判断するというステップアップのサイクルをきっちり回し、また効果の確認の方法と判断の方法については十分かつ慎重に検討して欲しい。
- 漁業などの利用者にも十分配慮して欲しい。
- また、東北の大震災を受けて、津波に対して今回の対策案がどのような影響を及ぼすのかという関心も非常に高かった。

第6回技術分科会の開催状況(1/3)

- 8 -

□開催日:7月17日(日)

□場所:佐土原総合支所 2階 研修室

□議事概要:

1)報告事項

- ・第11回、第12回宮崎海岸市民談義所の報告
- ・養浜及び関連調査等

2)検討事項

- ・宮崎海岸における地形変化と侵食対策に必要な機能のおさらい
- ・宮崎海岸保全の基本方針(案)の検討
- ・宮崎海岸侵食対策(案)の検討
- ・宮崎海岸侵食対策(案)に関する市民の意見の確認・検討



会議の様子



杉尾オブザーバーによる流砂系の取り組み紹介



吉武オブザーバーから確認

第6回技術分科会の開催状況(2/3) ～市民の意見の確認・検討～

- 9 -

市民(第12回市民談義所意見)

①できるだけ早期に安全を確保してほしい (安全第一)

- 利用も環境も大事だが、安全を確保することを第一に考えて欲しい
- 現実として砂浜がなくなっている
- スピード感を第1に対策を実施してほしい

②効果・影響を確認してほしい。モニタリング調査の方法、判断方法はきちんと検討してほしい

- 対策案は効果があるのか
- 突堤を作ると侵食が進むのではないか
- 突堤を伸ばす判断をするために一定の期間のモニタリングが必要ではないか

③漁業等利用への影響も十分に考慮してほしい

- 漁業に支障のない対策としてほしい

④対策の津波への効果・影響を知りたい

- 突堤により津波被害が拡大しないか
- 東日本大震災の被害からの教訓は

事業主体

I 高潮・高波等から背後地を守るために必要な砂浜(浜幅50m)が確保できる対策案を提示。

II 侵食が進行しており、早期に安全を確保する必要があることから、波浪観測、地形測量、環境調査を実施し、毎年その結果を確認した上で、徐々に整備を進める案を提示。

III 安全を確保しつつ、環境、利用、漁業、景観等へ配慮した対策案を提示。

IV 東日本大震災の被災地の事例を収集し、対策の実施による津波の遡上等への悪影響が見られないことを提示。

技術分科会が専門的な立場から助言

市民連携コーディネータが中立、公正な立場からチェック

◆ 検討結果および議論の内容

- ✚ 宮崎海岸侵食対策(案)について、突堤による漂砂制御が妥当かどうか、また、この対策を進めていくためには、どのような課題があり、検討を詰めていくべきかという話を中心に議論した。

- 侵食対策に必要な機能のうち、南への流出土砂量を減らすことに関しては、突堤による漂砂制御が妥当であることを確認した。
- 今後の分科会では、対策の実施にあたり、以下のような対応が必要という認識。
 - 突堤の基本形状・構造・素材、施工順序を検討する。
 - 浜崖後退抑制工(護岸＋養浜)の基本形状・構造・素材、施工順序を検討する。
 - 突堤・護岸の規模、養浜方法について、モニタリングを確実に実施し、必要に応じて修正・改善を加える。

第13回宮崎海岸市民談義所の開催状況

- 11 -

□開催日:7月17日(日)

□場所:佐土原総合支所 2階 研修室

□参加した市民:26名

分科会委員5名、杉尾オブザーバー(中部流砂系委員会委員長)

□議事概要:

- ①宮崎海岸侵食対策(案)
- ②第6回技術分科会の概要
- ③第12回市民談義所等での市民意見についての
技術分科会での議論
- ④意見交換



分科会委員からの解説



杉尾オブザーバーによる流砂系の取り組み紹介



吉武コーディネーターによるまとめ

《主な意見・質問》

- 一ツ瀬川左岸の富田浜に砂が堆積しているのは、流入河川（一ツ瀬川の流れ）の影響ではないか。（流入河川のない場所に設置する突堤には堆積は生じないのではないか）
- 突堤300mのうちの100m程度の位置までしか砂が堆積しないようになっている。突堤の先端まで砂がつかない計画としているのか。
- これまで、汀線位置をもとに戻せという意見もずいぶん出ていたが、それは非常に難しいということか。また、浜幅を100mなどの将来的な考えは含まれないのか。
- 今回の侵食対策案は、巨大地震とか巨大台風（などの想定外の災害）を分離した形で進めていくのか。
- 地盤沈下の対策はとても難しいと思うが、国と県にはぜひ長期的な対策の中に地盤沈下対策を入れて欲しい。
- 提示された対策案によって、砂浜に立ち入り禁止の立て札がたつのか。
- 歴史的にも由緒ある地域であり、宮崎県の誇る海浜であるため、それにふさわしい景観づくりをお願いしたい。
- コンクリートが一概に悪いということではなく、使い方、あるいは美観の問題としてももう少し冷静で客観的な評価をして欲しい。

◆談義のまとめ

- ✚ 前回談義所で頂いた市民意見を含めて宮崎海岸侵食対策(案)について談義を行い、参加者からのさまざまな質問や意見に対し、事務局からの回答、分科会委員による説明・解説があった。
- ✚ 談義の最後に、市民連携コーディネーターが談義所としてのまとめを行い、以下の3つについて談義所が理解を共有したこと、宮崎海岸侵食検討委員会に報告することを参加者と確認した。

1. 今回提示された案が、市民、専門家、行政が一体となって検討されてきた案であるということ。
2. 今回提示された案の成り立ち。
3. 今後も市民、専門家、行政が一体となって施設の素材や形状の検討を行っていくこと、また、対策の効果・影響を現地で確認し、修正・改善を加えながら事業をすすめていくこと。

- 市民談義所に参加できない市民の方々にも、「宮崎海岸侵食対策(案)」について理解する機会を広く提供するため、オープンハウス、資料閲覧コーナーを開設
- 現在のところ対策(案)への意見は特になし(訪問者数も少ない)

オープンハウス(誰でも個別に事業の説明が受けられます)

★7月11日～ 9:00～17:00
毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)

★場所: 海岸よろず相談所
(宮崎海岸出張所 宮崎市佐土原町下田島
9515-6)

※上記時間外に希望される方は「海岸よろず相談所」(TEL0985-62-7050)へご相談下さい。

資料閲覧コーナー(説明資料を閲覧し、意見投稿ができます)

★7月11日～ 9:00～17:00
毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)

★閲覧場所:

宮崎河川国道事務所1Fロビー(宮崎市大工2-39)

宮崎海岸出張所(宮崎市佐土原町下田島9515-6)

宮崎県県土整備部河川課(宮崎市橘通東2-10-1)

宮崎市佐土原総合支所建設課(宮崎市佐土原町下田島20660)

宮崎市住吉地域センター振興係(宮崎市大字島之内7409-1)

宮崎市役所6F土木課(宮崎市橘通西1-1-1)

地元代表者への説明(佐土原地区)

- 15 -

- 開催日:7月12日(火)
- 場所:佐土原総合支所 2階 研修室
- 参加者:佐土原町域内自治会会長 39名
- 議事概要:

- ①宮崎海岸侵食対策(案)の提示
- ②侵食対策(案)に対する地元代表者の意見聴取

主な 意見

- ・砂浜が減った理由は何か
- ・生活に直結する問題、早急かつ着実に対策を進めて欲しい
- ・透過型の消波ブロックでは砂が抜けてしまう



説明の様子



事務局からの説明



参加者との意見交換の様子

地元代表者への説明(住吉地区)

- 16 -

- 開催日:7月15日(金)
- 場所:住吉公民館 2階
- 参加者:住吉地区自治会会長 32名
- 議事概要:

- ①宮崎海岸侵食対策(案)の提示
- ②侵食対策(案)に対する地元代表者の意見聴取

主な 意見

- ・侵食の原因をどのように考えているか
- ・整備スケジュールの予定を教えて欲しい
- ・補助突堤の50mをもっと延ばして砂浜を回復できないか
- ・耳川での取り組みを教えて欲しい(一ツ瀬ダム堆積砂関連)



説明の様子



参加者との意見交換の様子



参加者との意見交換の様子